

訂正
版

五峡の子

学校だより 3月号
荒川区立第五峡田小学校
校長 出井 玲子
令和5年3月1日(水)
TEL 3 8 9 2 - 9 5 1 5
五峡小ホームページ

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI5HAKETA-E/>

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」

ありがとう 6年生

校長 出井 玲子



今年度もいよいよ最終月となりました。来週6日(月)は、冬ごもりしていた虫がはい出してくるとされる二十四節気の一つ「啓蟄^{けいちつ}」です。季節は確実に春に向かっていきます。

2月24日(金)は「6年生を送る会」でした。今年度もこの数年行ってきた動画による会を踏襲しました。1～5年生の出し物は、動画編集技術も上がりそれぞれの学年が創意工夫して、6年生への感謝の気持ちを伝えました。対する6年生は、堂々とした楽器演奏やパフォーマンスの発表でお礼の気持ちを存分に示しました。心温まるひとときでした。

「6年生を送る会」は、5年生の代表委員会児童が中心になって「企画」「運営」するものです。5年生にとって、この機会は「最高学年になる」という自覚と責任の芽生えにつながります。今回は、期待以上にその力を発揮してくれました。これも、6年生が日頃から下級生のお世話をしたり、各行事では学年で一致団結して力を尽くしたりする姿があったからに他なりません。回数は少なかったけれど、縦割り班で行った「なかよし班清掃」で6年生がリードしてくれたことも下級生は見っていました。

「和敬清寂(わけいせいじゃく)とは、茶道の精神も表わす禅語です。「温かい人間関係が生まれるために大切なことは、相手を思い敬う心である」という意味です。お茶室で、お茶を出す主人といただく客人とが静かに心を通わせるところからきた言葉ですが、6年生と下級生が互いを敬い合う今回の行事での姿にも通じるのではないかと感じます。

本校の教育目標の一つ「やさしい子」には、～互いを認め、支え合う～という意味があります。バトンは、5年生に渡されました。6年生の思いを受け継いで立派な最高学年に成長してくれることと思います。6年生は、残り少ない小学校生活を大切に過ごして欲しいと思います。

これまで、本校の教育活動にご協力くださり、子供たちを温かく見守ってくださいました保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

今年度は、卒業式にご来賓の皆様をお招きして6年生の巣立ちをお祝いしていただけたら幸いです。引き続き、感染症予防には万全の対策を取って参りますが、直接お目にかかって行事を行うことができることを嬉しく、有り難く思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。五峡小学校は、今後もICT教育の推進など、コロナ禍に得た有効な学習の手立てを生かしつつ、教育活動の充実に取り組んで参ります。

荒川区子どもの権利条例 (令和5年4月1日制定)

この度「荒川区子どもの権利条例」の制定にあたり、荒川区内の6年生が保護者の皆様のご協力をいただきアンケート形式で意見を述べました。この条例は、ユニセフの唱える4つの権利「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の保障に基づいています。

荒川区では「子供たちの夢や希望を育み、笑顔に満ちあふれる町づくり」を目指しています。本校でも子供たちを守ることと子供たち自身に一市民としての意識をもたせることを推進していきます。